

順位	氏名（議席）	発言の要旨
10	佐藤 菊乃（5）	<p>1. 本市における保育士の現状と課題について</p> <p>認可保育園での一斉退職が全国的に相次いでいることを受け、こども家庭庁は、本年4月17日付で、自治体に対し国の支援制度などを活用して職場環境の改善を進めるよう通知した。</p> <p>また、6月に大阪府八尾市で発覚した認可保育園での園児虐待事案など、各地で起こる不適切保育、誤飲による事故等が新聞やテレビ報道されているように、現在の保育にまつわる環境には、保育士の人手不足など様々な問題点や課題が山積しており、本市においても、同様であろうかと不安に思う昨今である。</p> <p>このような環境下では、保育士が本来持っている能力を十分に発揮できない状況も考えられる上、日頃から感じている不安や困り事について、具体的に言葉に出せているのだろうかと杞憂するところでもある。</p> <p>そこで、本年8月より10月末まで、こどもの育ちを考えるみんなのアンケートと題し、私と小鳥と鈴の会において私自身がアンケート実施責任者として、SNSでの意識調査、対面での聞き取り調査及び座談会での意見交換会などを実施したところ、本市の保育を取り巻く環境、保育士の本音、園での課題など、多くの意見を収集することができた。</p> <p>また、保育士から語られてこなかった不安や保護者への思いなどを酌み取ることができたため、当局との共有を図りたいと考えている。</p> <p>なお、今回明らかになった課題の中には、対応策を見いだすことができそうな点もあり、早期解決に向け取り組むことによって、今後の保育園運営や保育士の採用などに関し、明るい兆しを届けることができるのではないかと期待を持てるものである。</p> <p>はぐくむF U J I少子化対策プランの目指す将来像にもあるように、本市が安心して子どもを産み育てることができるまちとなるために、以下質問する。</p> <p>(1) 本市の公立保育園において、こどもの定員に対する必要な人員配置はできているか、現時点での充足率を伺う。</p> <p>(2) これから進む公立保育園の統廃合が全て終了した時点での人員配置は、今より充実する予定か、将来の予想充足率を伺う。</p> <p>(3) 公立保育園に勤務する保育士及び保育補助者などが、メンタル相談に訪れることはあるか、また、あるとすれば、ほかの職種に比べて利用人数は多いか少ないか。</p> <p>(4) 保育士の離職予防策としてどのような取組をしているか。</p> <p>(5) 保育園の運営や待機児童対策などに関して、こども家庭庁から補助金メニューが提示されているが、本市は十分に活用できているか。</p>